

標的の村

三上智恵監督作品 91分

《同時上映》(5/31のみ)

『海にすわる ～辺野古600日間の闘い～』

三上智恵監督作品 47分

スクリーンに
たたきつける、
伝えきれない
沖縄

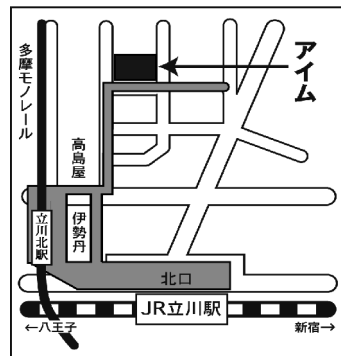
辺野古に米軍基地NO!
高江にオスプレイ・パッドNO!と言い続けて18年。
なぜ、日本政府は非暴力で訴え続ける沖縄の人を
力尽くで排除し、裁判にかけてまで
米軍基地を守ろうとするの?
沖縄中が反対する中で強行配備された
24機のオスプレイ。連日、沖縄中を我が物顔で
飛び回り、さらに西日本の各地でも訓練飛行が
始まっています。三多摩の上も飛ぶのです。

5 / 10 (土)

立川市女性総合センター・アイムホール

J R立川駅/多摩モノレール立川北駅7分

- 10:30 「標的の村」上映
- 12:30 寿+こぐれみわぞうLive、アピール
- 14:00 「標的の村」上映
- 16:00 つちっくれLive、アピール
- 18:00 「標的の村」上映



チケット 両日共通

「標的の村」
前売1,000円
当日1,200円
(18才以下、半額)

「海にすわる」
前売500円
当日600円
(18才以下、半額)

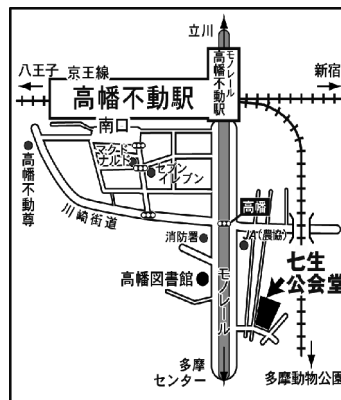
※トーク・ライブは、
映画をご覧になった方
は無料でお聞きになれ
ます。
※障がいのある方は、
介助者1名分無料とな
ります。

5 / 31 (土)

日野市七生公会堂ホール

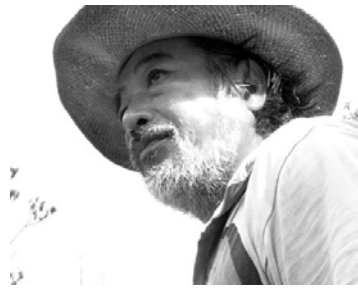
京王線高幡不動駅7分、多摩モノレール高幡不動駅5分

- 10:00 「標的の村」上映
- 12:00 「海にすわる～辺野古600日間の闘い～」上映
- 13:10 トーク「高江・辺野古を語る」
森住卓(フォトジャーナリスト)+ONE LOVE 高江の仲間たち
- 14:50 「標的の村」上映
- 16:50 「海にすわる～辺野古600日間の闘い～」上映
終了後 交流会



『標的の村』

2013年/91分/琉球朝日放送制作
 監督：三上智恵 プロデューサー：
 謝花尚 撮影：寺田俊樹 音声：木
 田洋 編集：寺田俊樹 ★ギャラク
 シー賞テレビ部門最優秀賞★山形国
 際ドキュメンタリー映画祭2013市民
 賞&日本映画監督協会賞★日本ジャー
 ナリスト会議JCJ賞★第87回キネ
 マ旬報文化映画部門第1位ほか多数



米軍基地の74%が密集する沖縄では、頭上を米軍ヘリ
 がわがもの顔で飛び回る。10万人が結集した沖縄県民大
 会の直後、日本政府は電話1本で県に「オスプレイ」の配
 備を通達。沖縄の怒りが爆発した。2012年9月29日の強
 硬配備前夜、台風の中、普天間基地ゲート前に身を投げ
 出し、車を並べ、22時間にわたって完全封鎖した住民た
 ち。この前代未聞の攻防の一部始終を琉球朝日放送のクル
 ーたちが記録した。5年前、オスプレイ着陸帯建設に反
 対して座り込む東村・高江の住民を、国は反対運動を委
 縮させる目的で、「通行妨害」で訴えた。自分たちは
 「標的」か、と憤る住民たち。かつてのベトナム戦の米
 軍訓練でゲリラの役をさせられた記憶も蘇える。

復帰後40年経って
 もなお切り広げられ
 る沖縄の傷。奪われ
 た土地と海と空と引
 き換えに、私たち日
 本人は何を欲してい
 るのだろうか。



三上智恵監督 1964年東京生まれ。琉球朝日放送（QAB）キャスター、
 ディレクター。1987年、毎日放送に入社。'95年、QAB開局と共に沖縄へ。
 夕方のニュース番組「ステーションQ」のメインキャスターを務めるな
 か、「海にすわる～沖縄・辺野古 反基地600日の闘い」ほか多数の番組
 を制作。2010年には、女性放送者懇談会放送ウーマン賞を受賞。初監督の
 映画『標的の村』は、ロングランを続けている。（2014年3月末 現在）

『海にすわる～辺野古600日間の闘い～』

2006年/47分/琉球朝日放送制作
 ディレクター：三上智恵 プロデュ
 ーサー：具志堅勝也 撮影：笠間博
 之 音楽：上地正昭 構成：松石泉
 ★ギャラクシー賞テレビ部門優秀
 賞★地方の時代賞審査員選奨★日本
 民間放送連盟賞九州沖縄地区テレビ
 報道番組部門優秀賞



この作品は『標的の村』の原点といわれる、伝説のド
 キュメンタリー（琉球朝日放送制作）だ。普天間基地の移
 設先に名護市辺野古の名前があがった1996年の反対運動
 から17年経った今も、辺野古の海の埋め立てに日々抵抗
 し続けている人々がいる。辺野古移設が唯一の解決手段
 と日米が繰り返し合意するなかで、今最大の危機を迎え
 ている。このことを知る日本人はどれほどいるだろう。
 オスプレイ配備と辺野古はどう繋がる？ 日米両政府はな
 ぜ辺野古にこだわる？ 「高江のSLAPP裁判は辺野古の
 前哨戦」とはどういうこと？ そして今年、辺野古で何が
 起きるのか？ これらの疑問への答えが、この47分の中に
 ある。

Talk

もりずみたかし

■ 森住卓（フォトジャーナリスト）



1951年、神奈川県生まれ。1983年から三宅
 島米軍基地問題の長期取材に入り、共著『ド
 キュメント三宅島』（大月書店）は、88年の
 日本ジャーナリスト会議奨励賞を受賞。94年
 から世界の核実験場の被曝者の取材を開始。『旧ソ連セ
 ミパラチンスク核実験場の村―被曝者の叫び』を自費出
 版し、売り上げを被曝者の薬代に充てる。3.11直後から
 福島第一原発の取材を開始し、沖縄基地にも頻繁に出向
 く。近著にJVJA写真集『3.11メルトダウン』（凱風社）、
 『新版セミパラチンスク 草原の民 核の爪痕』（高文研）
 『福島第一原発 風下の村』（扶桑社）、『沖縄・高江
 やんばるで生きる』（高文研 2000円）など。写真カレ
 ンダー「ヤンバルに生きる」も制作・販売している。

■ ONE LOVE 高江の仲間たち

高江をサポートしたい。高江のことを発信する人を
 増やしたい。そのために、オリジナルグッズの販売や
 イベントの開催を通して資金を募り、東京から高江に
 「特派員」を送る活動をしています。

Live

■ 寿[kotobuki]+こぐれみわぞう

ナビィ(Vo)、ナーグシクヨシミツ(Guitar&三線)の男
 女二人組の寿[kotobuki]。国内は沖縄関係、平和、市
 民運動、学校・教育関係、NGO。人権、環境問題。各
 国民族交流、オーガニック&沖縄料理屋などなど年間
 100~140本コンサート、我ったーネット(寿[kotobuki]
 ネットワーク)を広げ日々全国横断中。

その寿とCICALA-MVTA（シカラムータ）・ジンタラ
 ムータのロックチンドン奏者 こぐれみわぞうが沖縄
 に思いを寄せて演奏とお話をしてくれます。

■ つちっくれ

おれたち つちっくれ。少しずつ前に進んでいます。

LOVE & PEACE 言い続けます。高江に友だち
 が住んでいます。福生にも友だちが住んでいます。那
 覇にも友だちが住んでいます。そこには生活がありま
 す。そんなところに戦争が入り込む隙間はありません。

(vocal : はな談)